



新年のご挨拶



群馬県中小企業団体中央会

会長 金子 正 元

平成29年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、本会は創立60周年を迎えました。これも偏に国、県をはじめとする関係機関並びに会員組合及び組合員企業の皆様のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今年は、ドナルド・ジョン・トランプ氏がアメリカ合衆国第45代大統領に就任し、現時点では、世界の政治・経済が、どのように変化していくのか、誰もが手掛かりを探っている状況にあります。

また、人口減少等構造的要因による需要減少や人手不足等の国内事情に加えて、TPPの行方を危うくしている新たな自由貿易を巡る対立や、英国のEU離脱に端を発したヨーロッパ情

勢の不安定な様相など、私ども中小企業・小規模事業者が動向を注視していく必要のある事象が山積しております。

こうした社会・経済環境が大きく変化する中であつて、本会会員の中小企業組合では、共同受注、研究開発、人材育成など、1社での実施が困難な事業に取組んでおります。また、このような経営支援に加え、まちづくりや災害対応など、社会インフラとしての機能を発揮している組合も多くあります。

国では、中小企業の売上高の伸び悩みや人手不足、設備の老朽化といった課題解決のため「中小企業等経営強化法」「ものづくり補助金」等による諸施策の推進、「下請法」の運用規準の改正等による下請取引の改善を進めています。

群馬県においても、「小規模企業振興条例」の施行、「第15次群馬県総合計画・群馬県版総合戦略」の策定を行い、さらに産業の活性化、雇用創出効果等が期待できる「コンベンション施設整備」にも取組むなど、群馬県の未来を創生していくため事業を展開しています。

本会では、こうした国・県の諸施策に対応した事業にも積極的に取組んでおり、平成28年度補正予算における「ものづくり補助金」についても引き続き地域事務局を担うこととなり、また、外国人技能実習制度についても、昨年11月に成立した外国人技能実習制度適正化法、改正入管法に則つて適正に実施されるよう監理団体となっている中小企業組合と組合員企業を支援して参ります。

このように本中央会は、国及び県等施策の活用に加え、新しい施策の要望にも取組みながら、組合等中小企業連携組織の支援を通じ、組合員企業の発展、群馬県経済の活性化に寄与して参る所存であります。

結びに、本年が、皆様にとりまして、大いなる飛躍の年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。



新年のご挨拶



群馬県知事

大澤 正明

新年明けましておめでとございます。

群馬県中小企業団体中央会の皆さまには、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、NHK大河ドラマ「真田丸」が一昨年の「花燃ゆ」に引き続き放送され、本県の魅力を県内外に発信することができました。

スポーツの分野では、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックという世界の大舞台において、本県から出場した多くの選手が素晴らしい活躍をしました。この姿は、3年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、子どもたちに夢と希望を与えてくれました。

また豊かな森林や自然に恵まれた群馬県にとって、8月11日が国民の祝日「山の日」として

スタートした記念すべき年でもありました。

さて、県内経済は緩やかな回復基調にあるものの、先行きが不透明になったTPPや新興国経済の減速など、今後の動向に注視が必要であります。また、少子高齢化により将来を担う若手人材の確保が困難になるなど、厳しい経営環境におかれている中小企業も少なくありません。

今年は、県政の新たな羅針盤である「第15次総合計画」がスタートして2年目を迎えます。人口減少が喫緊の課題として叫ばれる中「人・モノ・情報呼び込む」という新たな発想で、群馬の未来を創生していかなければなりません。

そのために、総合計画に掲げた「人づくり」「安全で安心できる暮らしづくり」「産業活力の向上・社会基盤づくり」の3つの基本目標に基づき、未来を担う子どもたちの学習環境の整備や、人口減少対策のための移住・定住促進、若者や女性、障害のある人など誰もが活躍できる雇用の場の創出、本県の強みや特性を活かした産業振興などを積極的に進めます。

また広域幹線道路などの道路交通網やコンベ

ンション施設の整備などにより、企業誘致や観光誘客をさらに推進し、県内経済の活性化に努めます。

群馬には、豊かな自然や温泉などの観光資源に加えて、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」や多くの古墳や埴輪など、本県が誇る歴史文化遺産があります。また夏には、古代東国文化を象徴する「上野三碑」のユネスコ「世界の記憶」への登録が期待されます。これらの優れた資源を生かし、群馬の魅力を力強く発信していきたいと思います。

本県経済の発展には、地域の中小企業の活力が不可欠です。中央会の皆さまは、経営合理化や経済的地位向上の支援により、その活力を最大限に発揮できるようご尽力を頂いております。県としても、皆さまと力を合わせ、中小企業の支援に努めてまいりますので、引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さまにとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

平成29年1月1日



新年のご挨拶

全国中小企業団体中央会



会長 大村 功作

明けましておめでとうございます。平成29年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成28年を振り返りますと、英国のEU離脱表明、米国のトランプ氏の大統領戦の勝利など様々な事象による国際経済の不透明感が増す中、国内では、少子高齢化・人口減少による国内市場の縮小と実需全体の収縮や、熊本、鳥取、福島での相次ぐ地震、北海道や東北地方を襲った台風・豪雨による天災などもあり、多くの中小・小規模事業者は、非常に厳しい経営を余儀なくされ、景気回復の実感が得られない年でした。

他方、中小企業等経営強化法の施行、消費税法の改正による引上げの実施時期と複数税

率制度導入の延期、TPP協定整備法の成立、IoTやAIをはじめとするデジタル化など、中小・小規模事業者を取り巻く環境は、想像を超える速さで変革しています。

政府は、「ニッポン一億総活躍社会」を閣議決定し、安倍総理の強いリーダーシップの下、「働き方改革実現会議」等において、同一労働同一賃金などの非正規雇用の処遇改善、賃金引上げと労働生産性の向上、長時間労働の是正、転職・再就職支援、人材育成などの改革に取り組んでいます。私も同会議のメンバーとして意見を申し上げてきたところです。人手不足が深刻化していますが、元々な中小・小規模事業者は、多様な人材を育成し、活用していることを実感しています。

こうした中、昨年10月19日に石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで開催した第68回中小企業団体全国大会では、組合の力に改めて意識を集中し、中小企業の生産性向上の底上げと、本業の稼ぐ力の強化に向けて全力で取り組むことを確認いたしました。また、11月29日には、安倍総理をはじめ多数の来賓をお迎えし、創立60周年記念式典を開催することができました。人間で言えば「還暦」

であり、平成29年は、新たなスタートを切るつもりで、諸課題の解決に全力で取り組んで参ります。

まずは、組合の付加価値拡大への支援です。「ありきたり」の組合活動では価値はありません。組合の先（組合員）の先（顧客）の先にあるニーズを把握して、組合ならではのサービスの提供を図っていくことが大事です。また、組合事務局の事業承継も急務と考えています。地域社会との連携・絆を深め、地域の経済を支え、挑戦する中央会としての存在感を高めていきます。

本年が、中小企業組合と中小・小規模事業者にとつて充実した1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成29年元旦





新年のご挨拶

株式会社商工組合中央金庫前橋支店



支店長 松尾 悟志

平成29年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年のわが国経済を振り返りますと、良好な雇用環境が続いたものの、消費者マインドの悪化から個人消費には弱さが見られました。海外経済の減速懸念から輸出は低迷し、設備投資も弱い動きとなりました。また金融市場の動揺を受け、回復には停滞感がみられました。

商工中金の「中小企業月次景況観測」によると、景況判断指数は「好転」「悪化」の境目である50をやや下回る水準で一進一退の動きとなりました。人手不足を感じる中小企業は多く、労働需給の逼迫による人件費負担の

増加等が引き続き懸念されました。

このような環境のもと、商工中金は平成28年熊本地震により被害を受けた中小企業の皆さまをはじめ、様々な要因で業績や資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、組織をあげて危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に最大限の対応を図り、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持、経済の安定に貢献できるよう、取り組んでまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金や中小企業等経営強化法をはじめとする国の設備投資促進施策と連携するとともに、戦略的な海外展開を行う中小企業や地域経済への波及力の高い地域中核企業、地域資源の活用にも他の事業者と連携して取り組む中小企業や中小企業組合に対し、地域金融機関等と協調しながら、リスクマネーを供給してまいりました。また、幅広い業種・業態において事業再編や構造改革の動きが加速することが見込まれる中、「海外展開支援」、「M&A」、「事業承継支援」、「ビジネスマッチング」等への取り組みを強化してまいりました。

再生支援については、各支援機関との連携

を一層強化し、経営改善計画の策定支援やそのフォロー等のコンサルティング機能の発揮、抜本的な再生支援、金融取引の正常化とその後の成長支援に取り組んでまいりました。

商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となつて中小企業と中小企業組合の皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、地方公共団体、地域の金融機関等の地域の各機関と幅広く連携しつつ、地域の面的なものにつなげ地域経済の活性化に貢献してまいります。

そして、「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。